



政府に對し

金鑛業政策の樹立を望む

千歳鑛山株式會社

取締役社長 西田芳雄

我が國の金鑛業は今や死活の關頭に立つてゐる。昨秋以來我々産金業者が熱烈に政府に要請し來たつた加工用金の自由價格問題も政府の容れるところとならず、終いに最高價格を設けられることになつたことは誠に遺憾で、これでは金鑛業が存立を續け得らる可くもないことは明らかである。金が日本の産業構造の一翼として國際經濟上は勿論、國民經濟上重要な役割を果している以上、産金事業に對し有効適切なる對策が樹立せられなければならない。

我々産金業者は昭和十八年三月政府の金鑛業整備令により製鍊所は解體し、重要な設備資材は全部撤去して當時の所謂重要産業と稱せられる方面へ政府の命令通り轉用したのである。従つて、以來各金山は荒廢其の極に達したまゝ、終戦を迎えたのである。終戦後に於ては殆んど總ての物價統制は撤廢せられ、自由價格となるに及び諸物價は暴騰したにも不拘、金價格については政府は常に諸物價に比し、不當に安い價格を設けて此れを全部買上げて來たのである。併し此れも我々は被占領下にあつたればこそ、従業員とともに血涙を吞んで忍び難きを忍んで來たのである。然るに昨年九月既に講和條約も締結せられ、最早講和發効となりたるにもかゝらず、未だに政府は抜本的金鑛業政策を樹立せず、しかも我々産金業者の眞摯なる要望に對し、我が國金鑛業の現實を無視した加工用金の最高價格なるものを設けて、此の場を糊塗せんとせることは、實に心外である。

政府に於ては金價格の問題は、爲替レートとの關連性を考慮し、慎重を期するやにも思われるが勿論日本の如き欠乏經濟の國では輸入によつて輸出が可能となる國柄であるから我々とても此點十分承知致しているのである。

政府は、金鑛業政策の一環として、探鑛獎勵金の大中の増額、金鑛業への設備資金の融資の圓滑及び其の金利の低減、固定資産税の免除、青化製鍊所及び浮游選鑛所等の設備に對する助成金の交附等は速かに實施すべき施策である。

我々は自らの企業努力精進を怠り、徒らに易きを求めんとするものでは斷じてない。

今や我が國金鑛業は重大なる危機に直面してゐるのである。政府は此の我々の切實なる要望を容易に容れないで、無爲無策であることは業界人としてばかりでなく、日本國民として、國際經濟上、將また國民經濟上誠に痛憤に堪えない。政府は須からく一日も早く金鑛業政策を樹立せらるるよう要請する次第である。(二七・六・二三記)

日本鑛業協會誌(第五卷第七號)

七月號目次

(卷頭言)

☆政府に對し金鑛業政策の樹立を望む

西田芳雄……

(論說)

☆加工用金制度の實施と今後の金問題

☆保安教育及び對策等について

生野鑛業所保安担当者……

☆米國の探鑛獎勵と鑛業補償の現況

渡部亮……七

☆水銀の經濟事情

矢島澄策……三
古宮房次郎……三

☆「月間の動き」

☆三つの問題

△協會だより

▽ニュース

▽資料